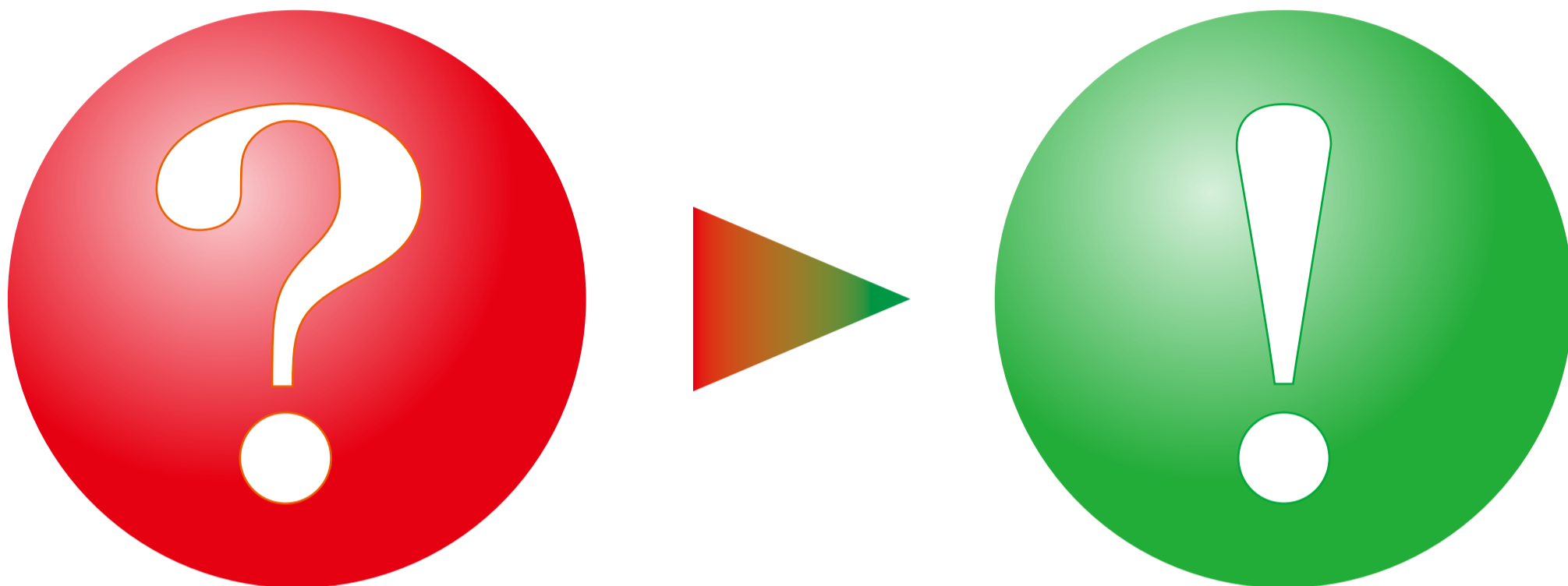


図書館は、「情報の力」で 最大限の支援を行います。



この度の東日本大震災で被災した文化施設は数知れず、図書館では書架の倒壊、資料の落下、施設の損壊など、これまで想像もできなかった非常事態に直面しています。そのような中、被災した図書館は、その復旧やその他の対応で追われ、本来の機能をすべて果たすことができません。そこで「だれでも・どこでも Q & A 図書館」では、被災した図書館に代わり、皆さんの疑問にお答えします。日々の生活での疑問・質問のほか、店舗復旧のために必要な情報や学術分野に関する情報など、日本中のレファレンサー（情報のプロ）がインターネットの向こう側で一致協力し、皆さんからの依頼を調査し回答します。どうぞお気軽にお申し込みください。そして、この活動が、被災地の方々と図書館の手助けになることを、心から願っています。

だれでも・どこでも Q & A 図書館 ～ 史上最大のレファレンスサービス～

<http://savemlak.jp/wiki/daredoko>

調査依頼は上記 URL の Web サイトからお申し込みください。
また、本サービスの詳細は、上記 Web サイトまたはチラシをご覧ください。



本サービスに関するお問い合わせ等： daredokoqa@gmail.com



だれでも・どこでも Q & A 図書館は、saveMLAK
- 博物館・美術館、図書館、文書館、公民館 (MLAK) の被災・救
援サイト (<http://savemlak.jp/>) 上で運営しています。

【図書館員の皆さんへ】「だれでも・どこでも Q&A 図書館」では、被災地図書館からのレファレンス依頼も受け付けています。また、「ご協力いただけ
る皆さま “回答団” や、レファレンス回答だけでなく事務局へご協力いただける方も募集しています。ぜひ、サイト内の登録フォームからご登録をお願いします。

発起人：国立国会図書館レファレンス協同データベース サポーター有志／賛同者（五十音順）●レファレンス協同データベースサポーター有志：江草 由佳（国立教育政策研究所）、岡本 真（アカデミック・リソース・ガイド株式会
社）、進藤 つばら（東京都立中央図書館）、高久 雅生（物質・材料研究機構 科学情報室）、林 賢紀（農林水産研究情報総合センター）、宮川 陽子（福井県立図書館）●レファレンス協同データベース企画協力員：齊藤 誠一（千葉経済
大学短期大学部ビジネスライフ学科准教授）●その他：井上 昌彦（関西学院 聖和短期大学図書館）、高辻 亜由美（奈良県立図書館情報館）、豊田 高広（田原市図書館）、中山 美由紀（東京学芸大学附属小金井小学校）